

## 校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

- |   |       |
|---|-------|
| か | 考える子  |
| め | めげない子 |
| の | 伸びる子  |
| こ | 心豊かな子 |



## 「一人でもできる、みんなともできる」

福生市立福生第六小学校  
校長 富永 大優

例年よりも早く開花した桜が舞い散る中で、新しい令和8年度が始まりました。福生第六小学校の児童のみなさん、そして保護者の皆様、入学、進級おめでとうございます。子どもたち一人一人の学校生活が充実したものとなるよう、今年度も引き続き、教職員一同、力を合わせて努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の入学式、始業式でも、子どもたちには「一人でもできる、みんなともできる」ようになって欲しいことを話しました。今年度は、「できる」の後に付いていた「子」を外しました。「できる」で終わるようにしたことで、子ども達の視点からの言葉になり、より主体的な意味が言葉に加わると考えたからです。

子ども達は、いずれ保護者の方や教職員から離れて自立していきます。そのときに、子ども達自身が学び方や生活の仕方、友達と一緒に取り組むときの付き合い方などを身に付けていれば、一人でも学んだり生活したりしていけますし、みんなと目標の達成に向けて協力することもできます。そのために私たち教職員は、日々の教育活動の中で、「一人でもできる、みんなともできる」ように、指導を重ねて参りたいと思います。

子ども達から「できたよ」「できるようになったよ」の言葉や、「できるようにになりたい」の言葉があふれる1年にしたいと思います。子ども自身や保護者の方、地域の方が引き続き「一人でもできる、みんなともできる」ようになって欲しいという同じ思いをもち、その思いの実現に向けて、それぞれのアプローチで取り組んだり、関わったりしていただければ、きっと大きな力になります。ぜひ、子どもたちが、「一人でもできる、みんなともできる」ようになるために、今年度も本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

## 校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

- |   |       |
|---|-------|
| か | 考える子  |
| め | めげない子 |
| の | 伸びる子  |
| こ | 心豊かな子 |



## 「一人でもできる、みんなともできる」

福生市立福生第六小学校  
校長 富永 大優

例年よりも早く開花した桜が舞い散る中で、新しい令和8年度が始まりました。福生第六小学校の児童のみなさん、そして保護者の皆様、入学、進級おめでとうございます。子どもたち一人一人の学校生活が充実したものとなるよう、今年度も引き続き、教職員一同、力を合わせて努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の入学式、始業式でも、子どもたちには「一人でもできる、みんなともできる」ようになって欲しいことを話しました。今年度は、「できる」の後に付いていた「子」を外しました。「できる」で終わるようにしたことで、子ども達の視点からの言葉になり、より主体的な意味が言葉に加わると考えたからです。

子ども達は、いずれ保護者の方や教職員から離れて自立していきます。そのときに、子ども達自身が学び方や生活の仕方、友達と一緒に取り組むときの付き合い方などを身に付けていれば、一人でも学んだり生活したりしていけますし、みんなと目標の達成に向けて協力することもできます。そのために私たち教職員は、日々の教育活動の中で、「一人でもできる、みんなともできる」ように、指導を重ねて参りたいと思います。

子ども達から「できたよ」「できるようになったよ」の言葉や、「できるようにになりたい」の言葉があふれる1年にしたいと思います。子ども自身や保護者の方、地域の方が引き続き「一人でもできる、みんなともできる」ようになって欲しいという同じ思いをもち、その思いの実現に向けて、それぞれのアプローチで取り組んだり、関わったりしていただければ、きっと大きな力になります。ぜひ、子どもたちが、「一人でもできる、みんなともできる」ようになるために、今年度も本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

## 校報かめのこ

福生六小ホームページ <https://fussa-6e.hs.fussa.school/>

- |   |       |
|---|-------|
| か | 考える子  |
| め | めげない子 |
| の | 伸びる子  |
| こ | 心豊かな子 |

## 「一人でもできる、みんなともできる」

福生市立福生第六小学校  
校長 富永 大優

例年よりも早く開花した桜が舞い散る中で、新しい令和8年度が始まりました。福生第六小学校の児童のみなさん、そして保護者の皆様、入学、進級おめでとうございます。子どもたち一人一人の学校生活が充実したものとなるよう、今年度も引き続き、教職員一同、力を合わせて努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の入学式、始業式でも、子どもたちには「一人でもできる、みんなともできる」ようになって欲しいことを話しました。今年度は、「できる」の後に付いていた「子」を外しました。「できる」で終わるようにしたことで、子ども達の視点からの言葉になり、より主体的な意味が言葉に加わると考えたからです。

子ども達は、いずれ保護者の方や教職員から離れて自立していきます。そのときに、子ども達自身が学び方や生活の仕方、友達と一緒に取り組むときの付き合い方などを身に付けていけば、一人でも学んだり生活したりしていけますし、みんなと目標の達成に向けて協力することもできます。そのために私たち教職員は、日々の教育活動の中で、「一人でもできる、みんなともできる」ように、指導を重ねて参りたいと思います。

子ども達から「できたよ」「できるようになったよ」の言葉や、「できるようにになりたい」の言葉があふれる1年にしたいと思います。子ども自身や保護者の方、地域の方が引き続き「一人でもできる、みんなともできる」ようになって欲しいという同じ思いをもち、その思いの実現に向けて、それぞれのアプローチで取り組んだり、関わったりしていただければ、きっと大きな力になります。ぜひ、子どもたちが、「一人でもできる、みんなともできる」ようになるために、今年度も本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。